



塩の草の道標

笠石の道標

塩の道むかしむかし
【塩の草から笠石、田代を結ぶ塩の道】

里美地区の南北を背骨のように流れる里川の谷間には、古代以来関東から陸奥に通ずる道が開かれていました。江戸時代のころ、里川沿いの谷道は、「棚倉街道」とか「小里通り」と呼ばれ、脇街道として栄えたそうです。一方、この縦貫の道とは別に、太平洋岸と内陸部とを結ぶ横断の山道も古くから開けていた様です。里美地区小妻町の塩の草～田代の山道も北茨城市の平潟からの塩の輸送路であった塩街道であったといわれています。塩の草の地名は塩の道からついたといわれています。



薄葉沢の早瀬と滝

里美地区の中心を南北に流れる里川は、東西を阿武隈山地にはさまれるような形になっています。阿武隈山地は、全体的に山頂が丸みを帯びたならかな高原状の地形となっており、その豊かな森には水が蓄えられ、浸みだした水がいく筋もの沢となって里川に流れ込みます。これらの沢は、山地の地形を反映して上流部で傾斜がゆるく、周りには水田や集落がありますが、山地の出口付近では傾斜が急になり深い谷を刻みます。そこには、早瀬や滝も多く見られます。薄葉沢の滝もこのような、里美の地形が生み出した自然の造形のひとこといえます。



塩の道で出会う草花たち

塩の道むかしむかし【おしゃべり地蔵】

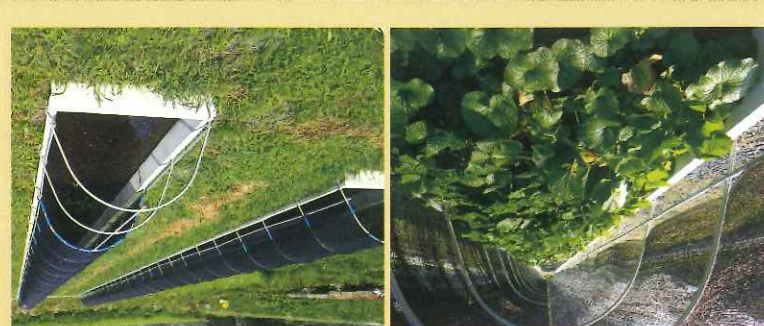
「おしゃべり地蔵」と呼ばれる地蔵様が笠石集落入口にあります。赤い帽子をかぶり、赤い半天を着て集落の入り口の左側の土手中程に二体の地蔵様。もとは1キロほど奥の川向に祀られていたと伝えられています。いつも地蔵様の二人でおしゃべりしているような気がするという。山奥にあってはお参りも大変なので現在の地に移したそうです。柔和な優しい顔をした二体のお地蔵様は、笠石の人々を眺めながら目を細め、今日は何の話をしているのでしょうか。



塩の道むかしむかし【笠石】

新田集落のはずれにある大きな石の上にさらに笠の形をした石がのっていることから名付けられといひます。また、水戸藩士小宮山楓軒の編さんした水戸領内地誌「水府志料」の附録には、笠石の絵図を掲載してその由来を説明しています。笠石はその特異性から、江戸時代より地域人々に知られていて、地名の由来になるほど深く浸透していました。花こう岩質の石質からなる。鬱蒼とした杉林のなかの斜面から顔を出すように鎮座しています。古くからの伝説によりますと、平家に追われてこの地まで落ちのびた鎮西八郎為朝が、鎧や甲冑、太刀などを石の中に収めてふたをしたものであるというお話も。ふたはずれてしまっているように見えますが、「中に収めた武具類は盗られてしまった」という後日譚はありません。

指定文化財	平成3年(1991)11月18日村指定、後に市指定
岩石名	花崗岩
高さ	台石 2.4m 上石 1.4m
横幅	台石 5.0m 上石 2.5m
所在地	小妻町 2184 番地



笠石わさび絶賛試行中！

阿武隈山系の山から生まれた薄葉沢の水は夏でも冷たく、また酸素を多く含んでいます。そんなきれいで冷たい水を利用して、笠石集落に住む農家さんが中心となり、2015年に笠石わさび組合を結成。休耕水田にわさび田をつくり、2016年から栽培を開始しました。このわさび田の特徴は、コンクリートのU字溝の一種ベンチフリュームというものを使って水路をつくり、その中に砂や砂利を敷いた圃場で、わさびを栽培する場所以外は陸地なので、陸作業の恰好で仕事ができます。現在は試験栽培中で、市場には出ていませんが、「笠石わさび」の爽やかな辛みを楽しめる日もそう遠くはないようです。楽しみに待ちましょう。

塩の道ハイキングコースのマップができました！



NHKの大河ドラマ「おんな城主 直虎」のロケ地にもなった笠石地区の古道「塩の道」と薄葉沢溪谷をハイキングコースとして2015年より笠石地区住民他里美地区の有志の皆さんとルートの調査から始まり、コースの草刈りや倒木撤去、安全ロープの設置、看板や休憩居場所の整備をしてきました。笠石から薄葉沢までのこの道は、私たちが子どもころはふもとの小里小学校までの通学路でもありました。そんなエピソードも思い出しつつ、マップ片手に滝の音に包まれながらたくさんの方にこの道を歩いて頂けたらうれしいです。(笠石「塩の道」保全隊代表 会沢 孝一)



塩の道ハイキングコースマップ 2018.02.20 発行
発行者 笠石「塩の道」保全隊
デザイン・編集・制作 合同会社ポットラックフィールド里美
※このマップは、2017年度「常陸太田市市民提案型まちづくり事業補助金」事業で作成しました。

茨城県 常陸太田市 里美地区
塩の道 ハイキングコースマップ
塩の草から笠石・上田代までの古道と薄葉沢の滝巡り

塩の道ハイキングコースマップ

塩の草から笠石・上田代までの古道と
薄葉沢の滝巡りの旅



左右
川上君田邑
道



おしゃべり地蔵 2



左中右
小作小
な場つ
な満
道

小妻町



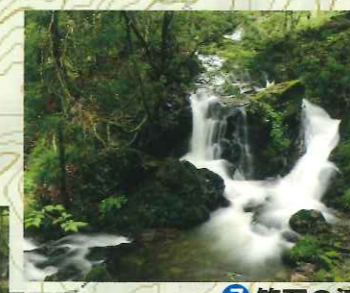
5 肘曲がりの滝



6 アッパガ淵(下滝)



8 笠石の滝頭



7 笠石の滝



3 早瀬の滝



4 滑り滝



1 塩の草の滝



2 薄葉沢の滝



右
馬頭観世音
左
上君田大津平瀧道

交通案内

- 鉄道・バス
JR常磐線を利用して水戸駅で下車。
水戸駅から水郡線で常陸太田駅下車。
常陸太田駅から茨城交通バス(小中行き)
小生瀬入口下車または駅からタクシー利用
- 高速バス(茨城交通バス)
新宿駅南口または東京駅八重洲南口
高速バス乗り場で乗車
茨城交通バス常陸太田バスターミナル
下車そこからタクシー利用
- クルマ
常磐自動車道を利用して
高萩I.C.から30分
日立中央I.C.から30分
日立南太田I.C.から30分
那珂I.C.から40分

チェックポイント (CP) でルートを確認!

